

事業名 **交通バリアフリー化促進事業**

[0320]

政策	安全で快適な都市生活の充実	施策	市街地整備の充実	基本事業	人にやさしく わかりやすい街並みづくり
----	---------------	----	----------	------	---------------------

部名	企画政策部	事業開始年度	平成16年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	企画課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果		手段
対象	交通バリアフリー化の対象地区（R江別 野幌・大森駅を中心とした概ね半径500mの地域）	交通バリアフリー基本構想に基づき、関係する公共交通事業者、道路管理者及び公安委員会と連携を図りバリアフリー化を推進する。
意図	高齢者や障がい者など全ての人が、駅及び駅周辺での安全で円滑な移動が可能となる。	

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算	25年度予算	目標
対象指標1	交通バリアフリー化対象地区数	地区	3	3	3	3	
対象指標2							
活動指標1	補助金額	千円	0	0	0	0	
活動指標2							
成果指標1	移動が円滑になったと感じる市民割合	%		40.6	38.5	40.6	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	0	0	0	0	0
正職員人件費(B)		千円	403	401	405	403	0
総事業費(A)+ (B)		千円	403	401	405	403	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

25年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持：現状の目的や方法に変更がなかつ25年度実施する事業
- 見直し：現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止：23年度もしくは24年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規：25年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			